

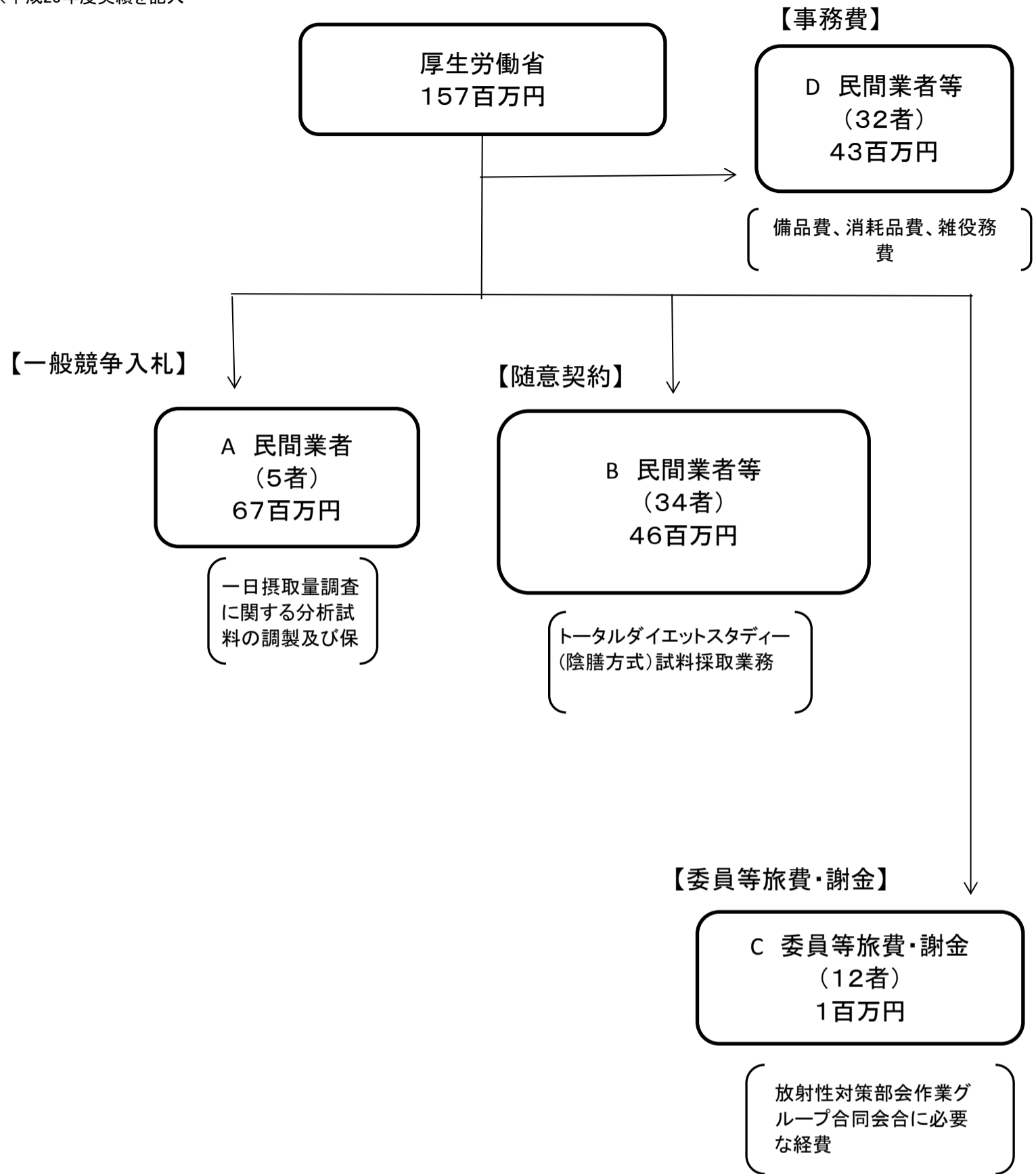
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	食品汚染物質の安全性検証推進事業（東日本大震災分）		担当部局庁	食品安全部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	基準審査課		森口 裕	
会計区分	一般会計 東日本大震災復興特別会計(H24~)		施策名	IV-4-1 食品等の安全性を確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第11条		関係する計画、通知等	食安発0315第1号食品安全部長通知「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について」等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新たに設定した食品中の放射性物質の基準値(平成24年4月施行)について、食品の汚染状況や摂取状況を調査し継続的に検証を行うことにより、食品中の放射性物質の安全対策を推進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	食品中の放射性物質の汚染状況調査及び、年齢、地域、季節ごとの実際の食品からの放射性物質の摂取量調査を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算			209		
		繰越し等					
		計			209	112	112
	執行額			157			
	執行率(%)			75.1			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	食品からの放射性物質のばく露量の推定を踏まえ、規格基準の見直しなどの検討を行うものであるため、定量的な指標を設定することは困難。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国民健康・栄養調査の地域別集計による食品群別摂取量を基に、通常の調理を行ったモデル献立中の農薬濃度を測定して一日摂取量を推定する。		活動実績	—	—	10自治体 5核種	—
	※平成23年度第3次補正予算成立後(平成23年11月21日)に実施体制の整備(適切な機関を選定して機器を設置)を図り、試料採取を行った。		(当初見込み)		()	[10自治体 5核種]	[15自治体 5核種]
単位当たりコスト	-		(円/件)	算出根拠	執行額÷活動実績 ※平成23年度補正では試料採取のみ。平成24年度に試料の分析を行う。		
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.4	0.4	-			
	職員旅費	1.4	1.4				
	委員等旅費	1.2	1.2				
	庁費	0.1	0.1				
	食品等試験検査費	108.7	108.5				
	計	112	112				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	これまでに経験がない事態であり、個人のばく露量を検証することにより食品の安全性を確保する必要があるため、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	食品衛生法に基づき国が設定した基準について継続的に検証する本事業は、国が実施すべきものである。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	当初予定していた食品摂取の調査世帯数が見込みを下回ったため(54世帯→39世帯)、不用が生じた。
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	微量放射線の検出が可能な高度な専門的技術を有し、かつ必要な専用の機器を設置可能で、着実に試験が実施できる機関を選定する必要があり、結果的に一部随意契約となった。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	少額随契についても合見積をとり、コストの削減に努めている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の適正な遂行について、必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	専門家、有識者の見解を踏まえ、国は事業の実施要綱において実効性のある取組を示している。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見込みを立てることは困難だが、優先度の高いものから着実に実施している。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	△	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	平成23年度補正で試料採取のみ実施、平成24年度に分析し、調査結果を公表予定。
点検結果	<p>本事業によって得られたデータは、基準値の継続的な検証にあたり重要なデータとなるため、適正な内容を得るよう努めているところ。順調に事業が行われているところであるが、今度、調査方法や頻度について、効果的になおかつ効率的に実施できるよう検討する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、食品衛生法に基づき食品中の放射性物質の汚染状況調査等に必要の事業であり、概ね妥当な予算措置となっているが、引き続き適切な執行及び予算計上に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	復興-47

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と用途の双方 で実情が分かるように記載)	A. 日立アロカメディカル(株)			D. 東京電力(株)		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	備品費	低バックグラウンド液体シンチレーションカウンター 1式	18	需要費	電気料	12
		液体シンチレーションカウンター一式	8			
		低バックグラウンドガスフロー α/β 線自動測定装置 1式	6			
計		32	計		12	
	B. (株)池田理化			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
備品費	純水製造装置・超音波洗浄装置組込み型流し台 1式	6	—	—	—	
	バイオメディカルフリーザ 690L -30℃直冷式 2点	0.9				
	試料容器 PC製 5L 回転刃保持器具付 5点 外3点	0.9				
	グラインドミックス GM200 2点 外1点	0.8				
	グラインドミックス GM300 1点 外1点	0.8				
	グラインドミックス GM300 一式	0.8				
	試料容器 ポリカーボネート製 1L 10点 外3点	0.6				
	大型冷蔵庫 NR-630F3 1点 外1点	0.6	計		0	
	シャマルホットプレート HHP-4030 2点	0.5				
	バイオメディカルフリーザ 690L 三洋 MDF-U730M 1点	0.5				
	器具乾燥器 DRU600TB AC100V 1点 外1点	0.3				
	硝子器具 一式	0.2				
	SUS製カゴ 430×380×200 オリエンタル技研 2点	0.01				
	ガス圧力調整器 日酸TANAKA ATR1 15LF 1点	0.01				
	バイオメディカルフリーザ 690L -30℃直冷式 3点	0.01				
計		13	計		0	
	C.100万円以上の支出該当なし			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
—	—	—	—	—	—	
計		0	計		0	
	G.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
—	—	—	—	—	—	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A. 一般競争入札

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日立アロカメディカル(株)	低バックグラウンド液体シンチレーションカウンター 1式	18	1	100.00%
2	(株)千代田テクノ	灰化装置 1式	17	1	97.10%
3	キャンベラジャパン(株)	Ge半導体ガンマ線検出器システム 1式	16	1	84.20%
4	日立アロカメディカル(株)	液体シンチレーションカウンター 1式	8	2	100.00%
5	日立アロカメディカル(株)	低バックグラウンドガスフロー α/β 線自動測定装置 1式	6	3	100.00%
6	(株)チヨダサイエンス	高速冷却遠心機(日立工機株式会社 himac CR22GⅢ) 1式	2	2	91.30%
7	(株)鈴木商館	平成24年3月分 窒素ガス 42立方メートル 外4点	0.2	4	92.90%

B. 随意契約

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本食品分析センター	一日摂取量調査に関する分析試料の調整及び保存業務	8	不落随契	
2	(株)池田理化	純水製造装置・超音波洗浄装置組込み型流し台 1式	6	随意契約	
3	島津サイエンス東日本(株)	ドラフトチャンバー CBK-SL15-F1~ 1点	2	随意契約	
4	島津サイエンス東日本(株)	灰化装置防塵ユニット 1式	2	随意契約	
5	島津サイエンス東日本(株)	中央実験台 F1-NL21-B 1-S 2100×1500×1800 特寸 1点	1	随意契約	
6	尾崎理化(株)	試料皿 TL法用試料皿 100個入り 2点 外24点	1	随意契約	
7	尾崎理化(株)	放射性ストロンチウム測定試薬 一式	1	随意契約	
8	尾崎理化(株)	遠心管 ビーエム機器 TPP遠心管 50mL20個入×18袋 2点 外31点	0.9	随意契約	
9	(株)池田理化	バイオメディカルフリーザ 690L -30℃直冷式 2点	0.9	随意契約	
10	(株)池田理化	試料容器 PC製 5L 回転刃保持器具付 5点 外3点	0.9	随意契約	

C. 委員等旅費・謝金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員A	放射性対策部会作業グループ合同会合出席旅費	0.03		
2	委員B	放射性対策部会作業グループ合同会合出席旅費	0.03		
3	委員C	放射性対策部会作業グループ合同会合出席旅費	0.03		
4	委員D	放射性対策部会作業グループ合同会合出席旅費	0.02		
5	委員A	放射性対策部会作業グループ合同会合出席謝金	0.01		
6	委員B	放射性対策部会作業グループ合同会合出席謝金	0.01		
7	委員C	放射性対策部会作業グループ合同会合出席謝金	0.01		
8	委員D	放射性対策部会作業グループ合同会合出席謝金	0.01		
9	委員E	放射性対策部会作業グループ合同会合出席謝金	0.01		
10	委員F	放射性対策部会作業グループ合同会合出席謝金	0.01		

D. 事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京電力(株)	電気料	12	随意契約	
2	関川建設(株)	実験室他改修工事 一式	9	随意契約	
3	東京ガス(株)	ガス料	4	随意契約	
4	東都電設(株)	実験室扉改修工事	2	随意契約	
5	東都電設(株)	外部扉等改修工事	2	随意契約	
6	東京水道局	水道料	2	随意契約	
7	東都電設(株)	倉庫改修工事	2	随意契約	
8	エス・イー・シーエレベーター	小荷物専用昇降機かご交換修理工事	1	随意契約	
9	(株)千代田テクノ	RI排気フィルター交換作業	0.6	随意契約	
10	島津サイエンス東日本(株)	器具戸棚1点 外1点	0.5	随意契約	